

遠隔見守りシステムの課題と新たな展開

～在宅ケア時代に対応した“命を守る”システムの現状と今後～

これまでの在宅見守りシステムは、居宅において高齢者の物理的な行動変化に着目し、動きの反応が無ければ緊急事態を認識する、いわば“早期事故発見装置”の様相が強いものでした。

しかし、在宅ケア時代が急速に進展する中、単なる早期事故発見装置から、居住者の健康状態の変化を早期に発見し、また、今後の体調変化の兆候を見つけることができる“スマート（賢い）”見守りシステムが登場してきています。

また、クラウドシステム対応の遠隔見守りシステムに公的介護保険が適用されはじめるなど、市場拡大の追い風も吹いてきました。

今回の研究会では、まさしく、スマートヘルスケアシステムとして機能する“命を守る”システムの開発動向と今後の方向性を探してみたいと思います。

■ 研究会プログラム

(16:00～16:10) 事務局より ～連絡事項、その他～

(16:10～17:00)

遠隔見守りシステムの課題と新たな展開

東京疲労・睡眠クリニック 院長

大阪市立大学医学部疲労医学講座 特任教授

エコナビスタ株式会社 代表取締役

梶本 修身 氏

【日時】2016年3月29日(火)

16:00～17:00

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号

グランフロント大阪ナレッジキャピタル タワーC 7階

TEL:06-6359-1322 FAX:06-6359-1329

【場所】公益財団法人都市活力研究所 セミナー室

(グランフロント大阪 タワーC 7階)

【参加費用】

本研究会会員……無料

非会員……お一人様:1,000円

定員:30名

(注)定員になりしだい締め切らせていただきます。
なお、定員オーバーの場合、本研究会会員優先とさせていただきますので、予めご了承下さい。

■主催

スマートウェルネス研究会

■共催

公益財団法人都市活力研究所

■お申込み・お問い合わせ先

事務局 味村(ミムラ)、卯津羅(ウツラ)

(公益財団法人都市活力研究所内)

TEL:06-6359-1322

E-Mail:ssws@urban-ii.or.jp

http://www.urban-ii.or.jp/ssws

